

& and factory

**2025年8月期
第1四半期 決算説明資料**

Financial Results



Index

1. 2025年8月期 1Q業績ハイライト
2. マンガ事業
3. エンタメ事業
4. RET事業
5. Appendix

Our Mission

日常に&を届ける

常識を打ち破る圧倒的な品質を提供し、少し先の未来を作っていく
革新性があるプロダクトを世の中に送り出し、人々の習慣を獲得する
非デジタルな業界に変革をもたらし、世の中をアップデートする

01

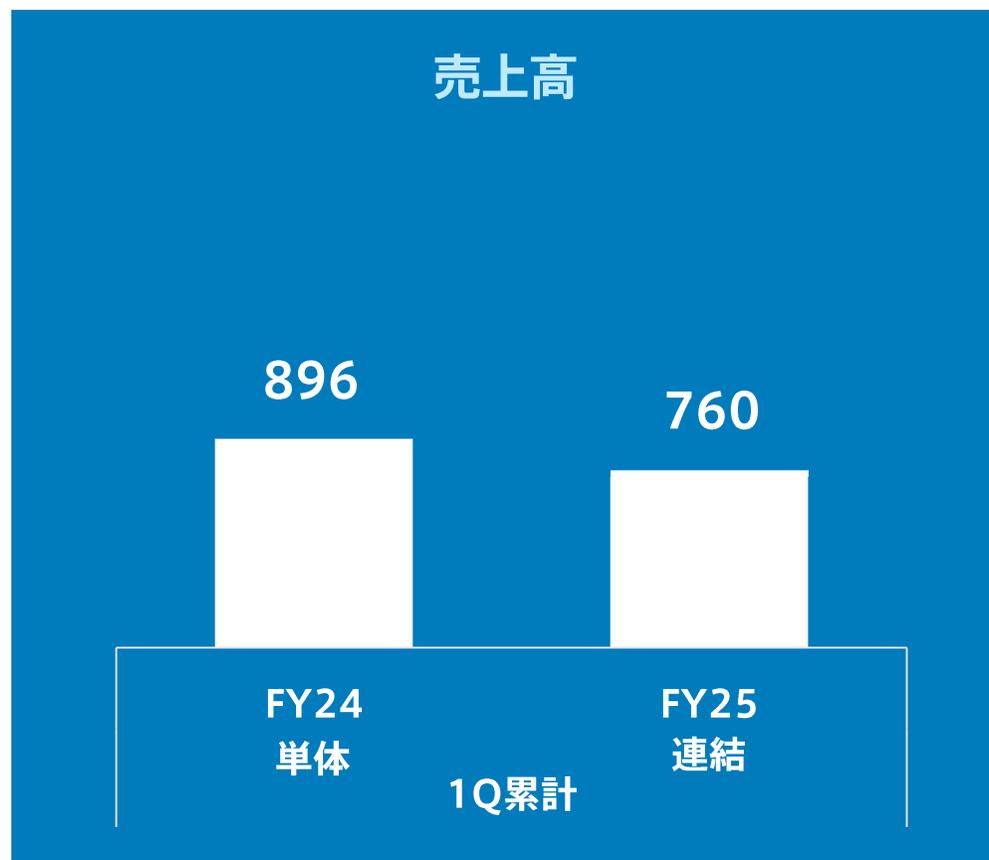
2025年8月期 1Q 業績ハイライト

2025年8月期 1Q業績ハイライト

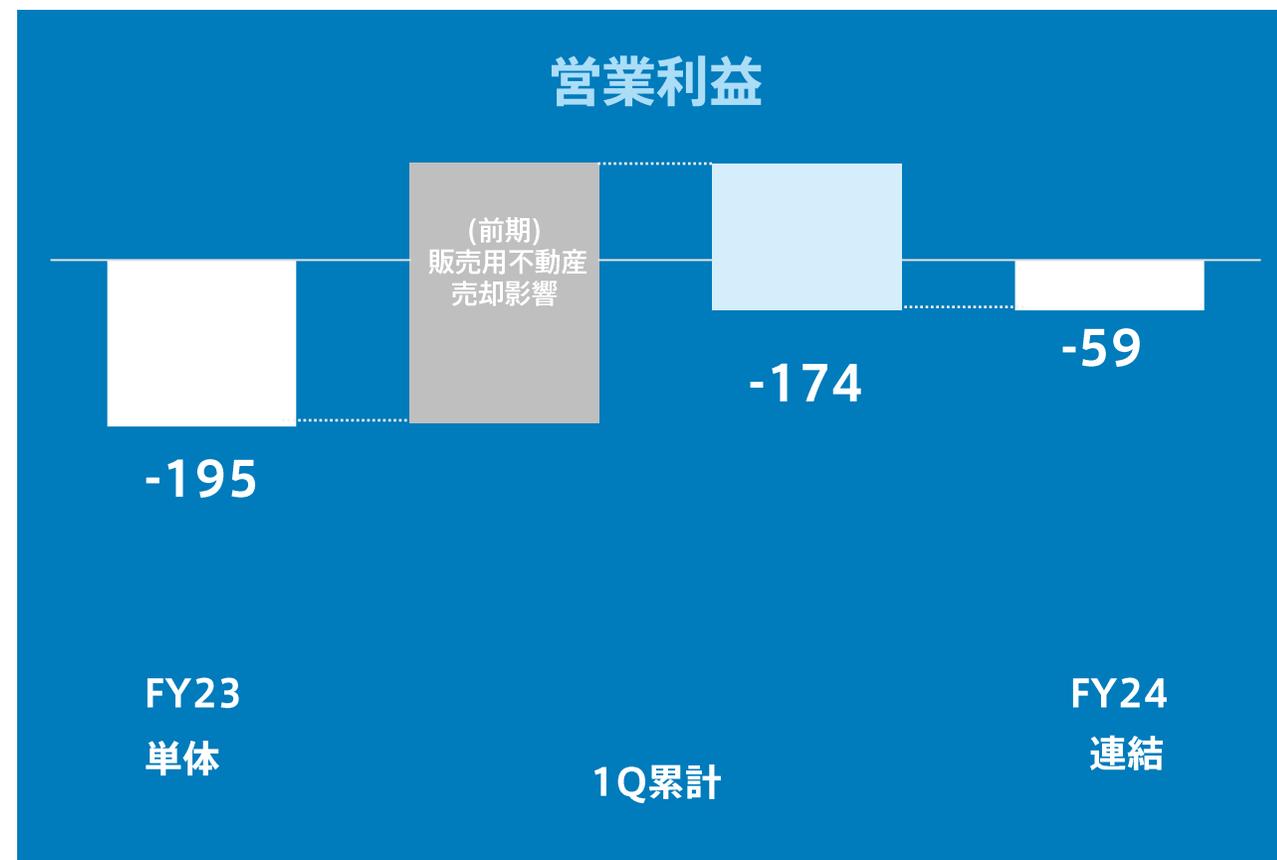
1Qに事業譲受した電子書籍ストア「ソク読み」のサービス開始と子会社連結により、売上増加に寄与一方で、前期「めちゃコミック」の協業終了、および巣ごもり需要の減少により既存サービスの課金売上が伸び悩み減収となった

営業利益では前期の販売用不動産の売却に伴う一時的な評価損計上の反動による損失縮小となる一方で、「めちゃコミック」の協業終了および「Pontaマンガ」の運用コストが増加したことにより減益

(百万円)

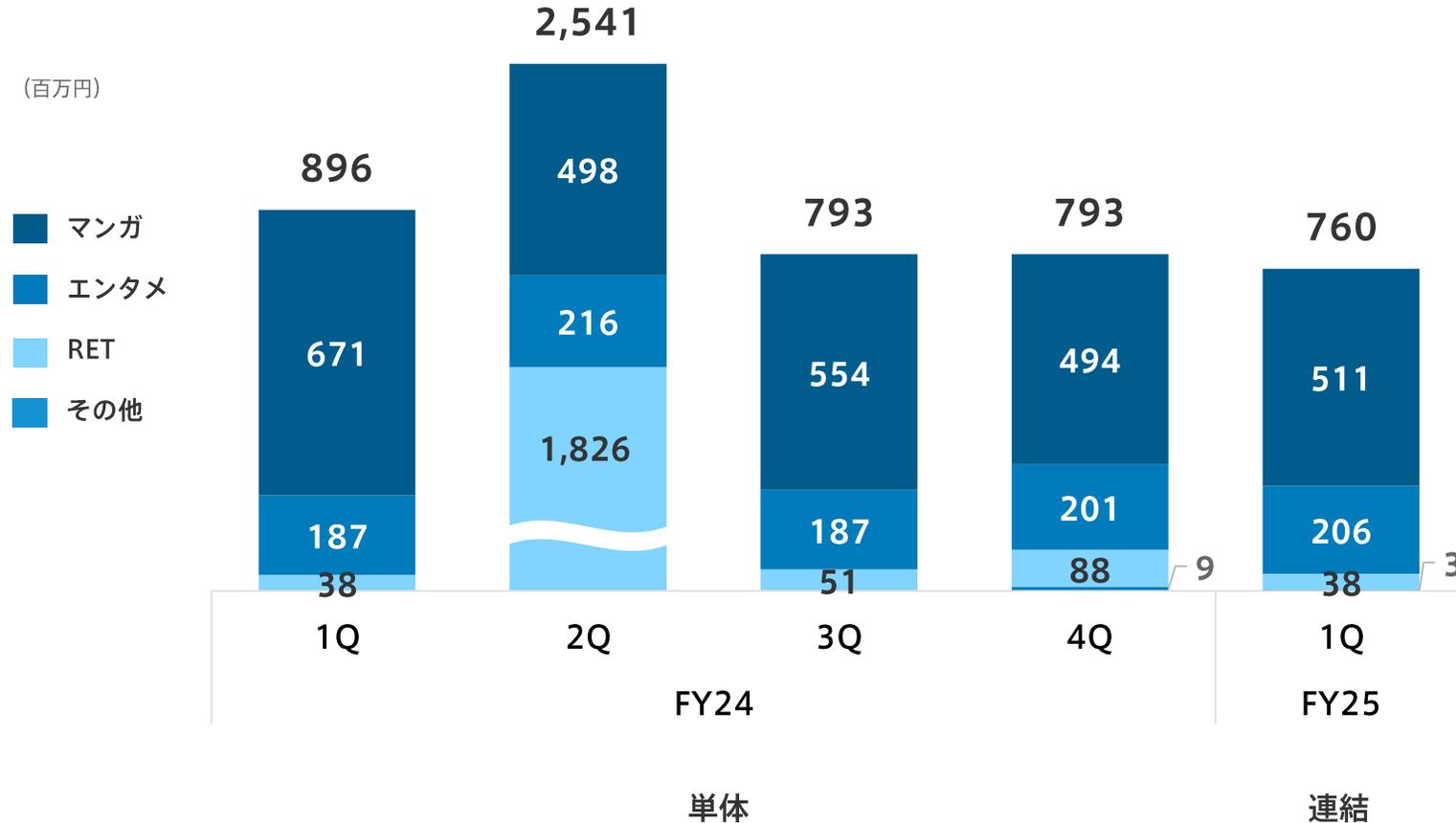


(百万円)



売上高の推移

- マンガ事業では「めちゃコミック」協業終了による影響で売上は前年を下回って着地
- エンタメ事業では前年同期と比較して売上高約1.1倍の成長となっており堅調に推移
- RET事業では、&AND HOSTEL SHINSAIBASHI EAST売却に伴い&AND HOSTELの収益が減少した一方で、不動産仲介による売上を収受。前年同期と横ばいで推移

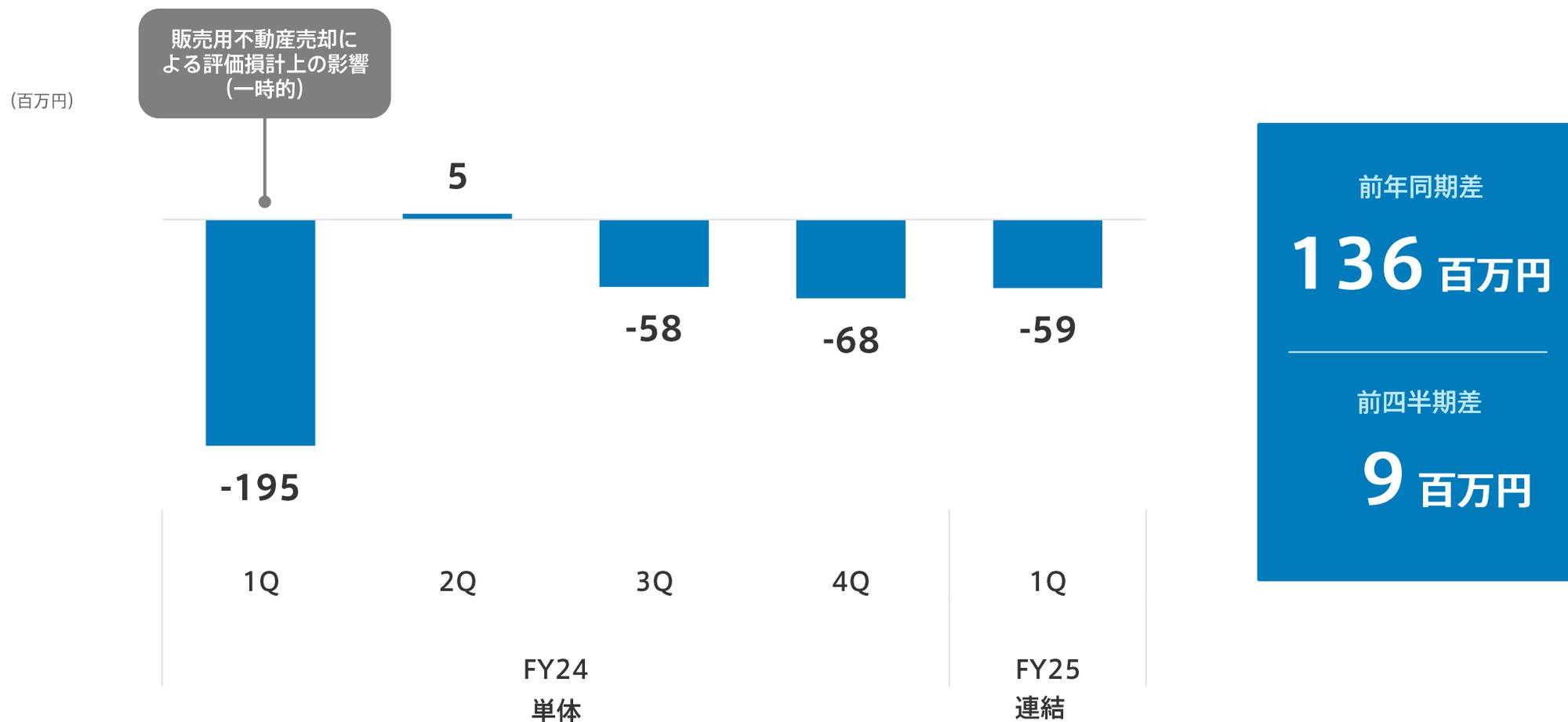


前年同期比
-15.2%

前四半期比
-4.2%

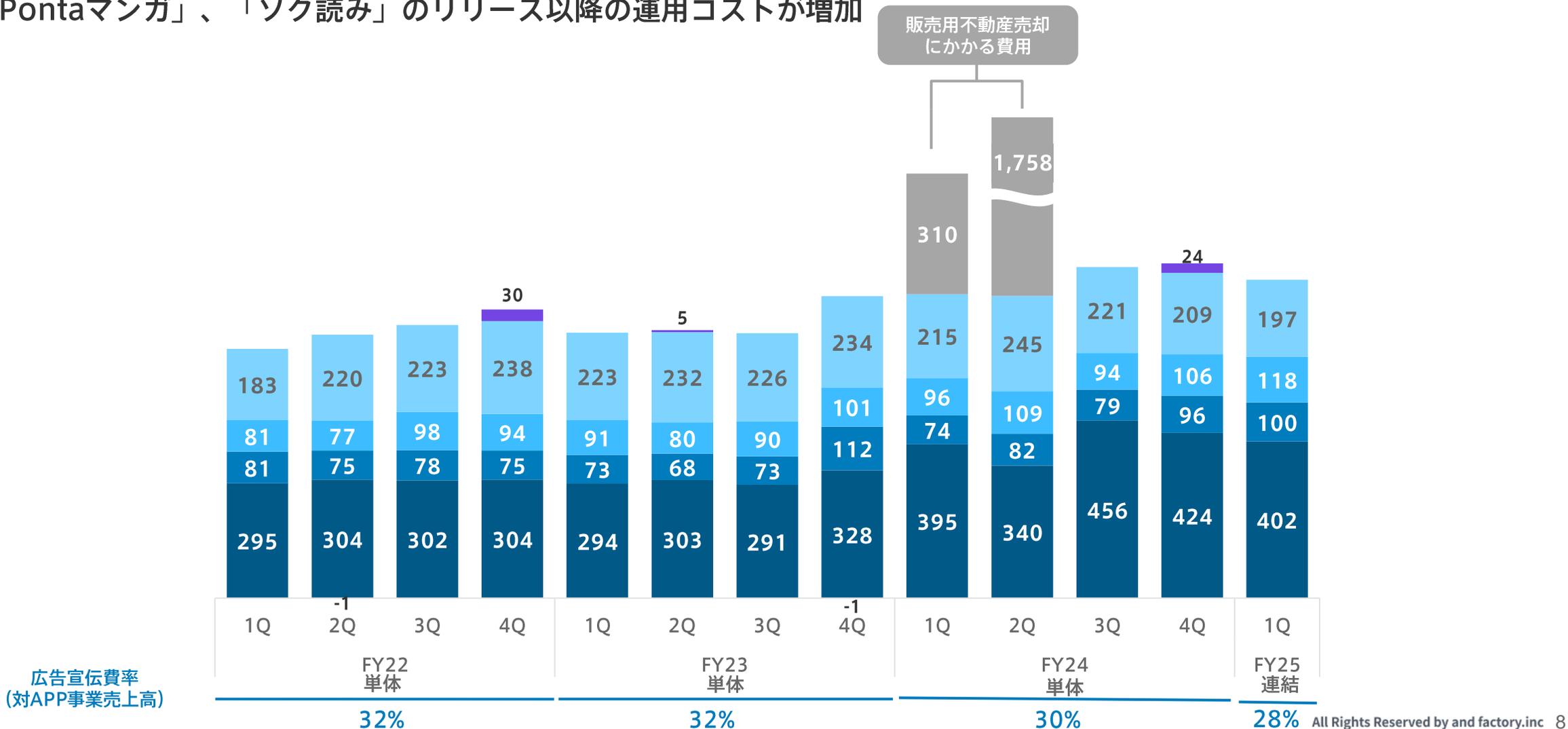
営業利益の推移

- エンタメ事業の既存サービスは微増ながらも堅調に増益推移
- マンガ事業において引き続き利益率の高い「めっちゃコミック」が協業終了したことによる営業利益の大幅な減少
- 巣ごもり需要の減少、および「Pontaマンガ」の運用コスト増加による営業利益の減少



コスト推移

- インフラやシステム費用の見直しは継続して実施しており適正なコスト水準を維持
- 新サービスの早期収益化に向けた、人的投資の実施により人件費が増加
- 「Pontaマンガ」、「ソク読み」のリリース以降の運用コストが増加



長期経営方針

TAM Total Addressable Market
獲得できる可能性のある全体の市場

海外市場

サウスイークス取得

コンテンツ
制作

Webtoon制作
スタジオ



今後進出

SAM Serviceable Available Market
獲得しうる最大の市場



AI

鋭意進行中

IP活用
ビジネス

集英社 - SHUEISHA -
少女マンガIPガイド

共通ポイント
事業者連携

Pontaマンガ

ディストリ
ビューション

Y7読み

関連システム
(書誌情報管理)

現在

SOM Serviceable Obtainable Market
実際にアプローチできる顧客の市場

¥

出版社協業
ビジネス

占い師協業
ビジネス

ホステル運営
ビジネス

Webtoon制作スタジオの進捗

FY24 4Q時点

- 2024年8月1日事業開始
- 縦スクマンガ作家との契約を多数締結
- レギュレーション決め、キャラクターデザイン、ネーム、線画・着彩、仕上げまで行った作品サンプル制作

進捗

- 作品の基盤となるネームをはじめとするタイトルを複数受注確定
- 当社クレジット表記作品を2025年公開予定（5～7タイトル）

制作事例のサンプル



成果

- 2025年順次 制作タイトル公開予定 **最大7タイトル!**
受注売上に加え配信売上フィーの收受を見込む
- ベース塗りの自動化ツールのプロトタイプ制作

今後の進捗

- 直近1年以内に制作タイトル数を3倍にするため、体制強化と受注数拡大!
- クリエイティブDX化の促進およびライセンス販売を予定

マンガ事業

売上高/営業利益推移 (四半期)

- 1Qに事業譲受した電子書籍ストア「ソク読み」のサービス開始と子会社連結により、売上増加に寄与
- 一方で、巣ごもり需要の減少により既存サービスの売上成長鈍化
- 営業利益では既存サービスの運用コストや共通経費などが減少し、損益改善

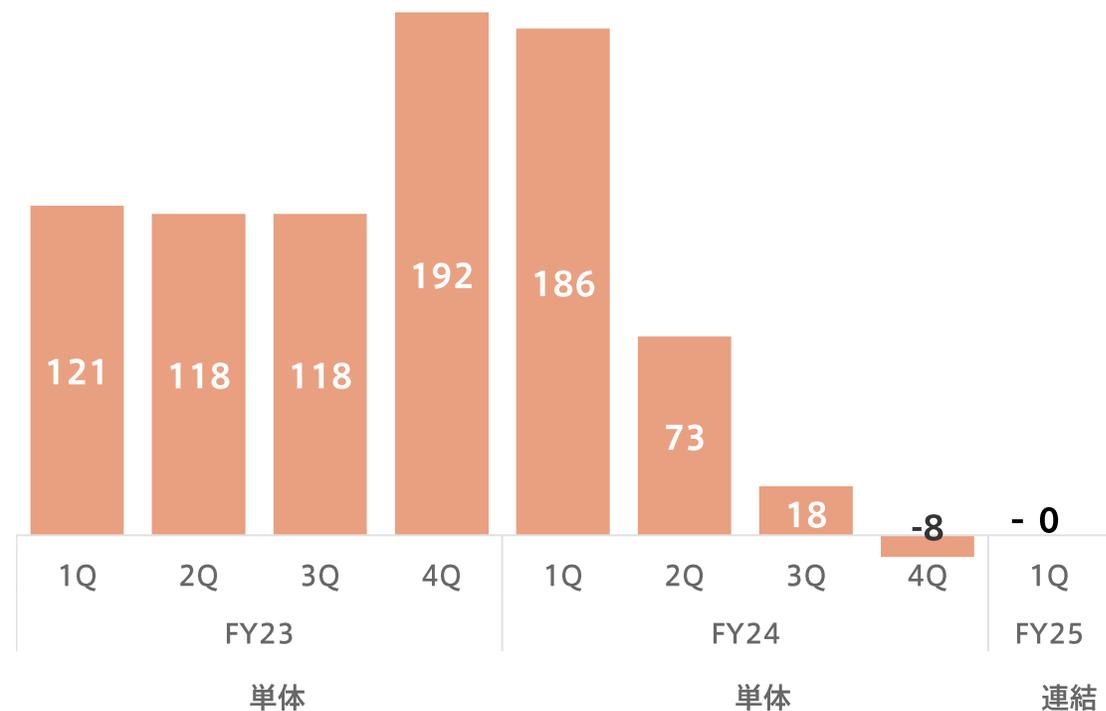
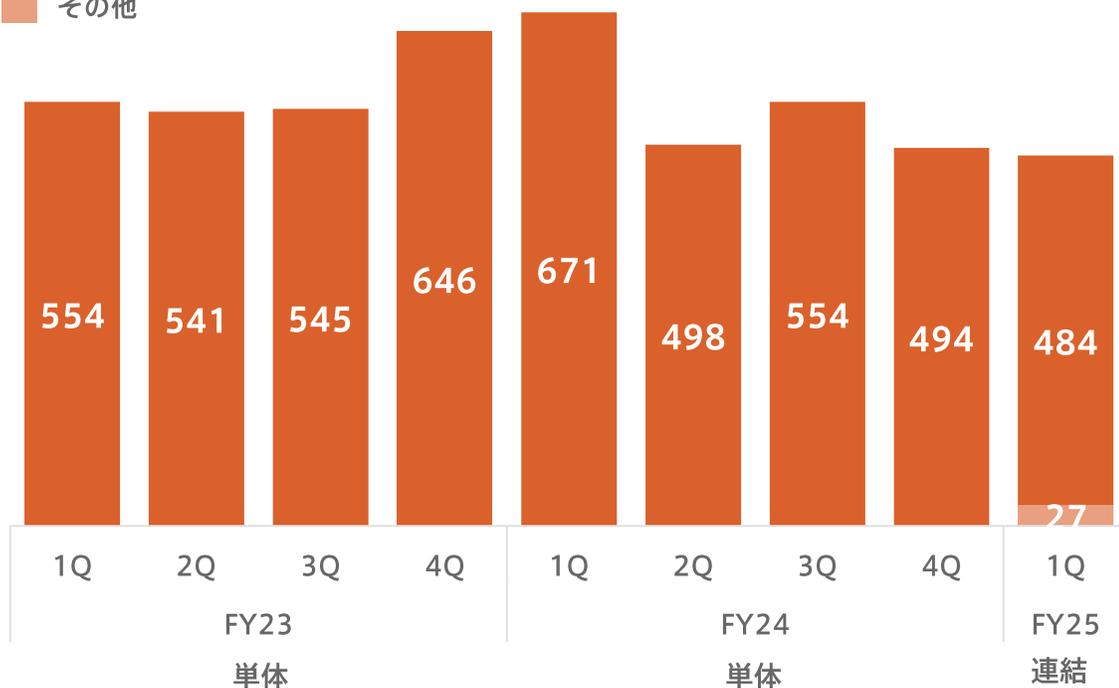
売上高

営業利益

(百万円)

(百万円)

- マンガ
- その他

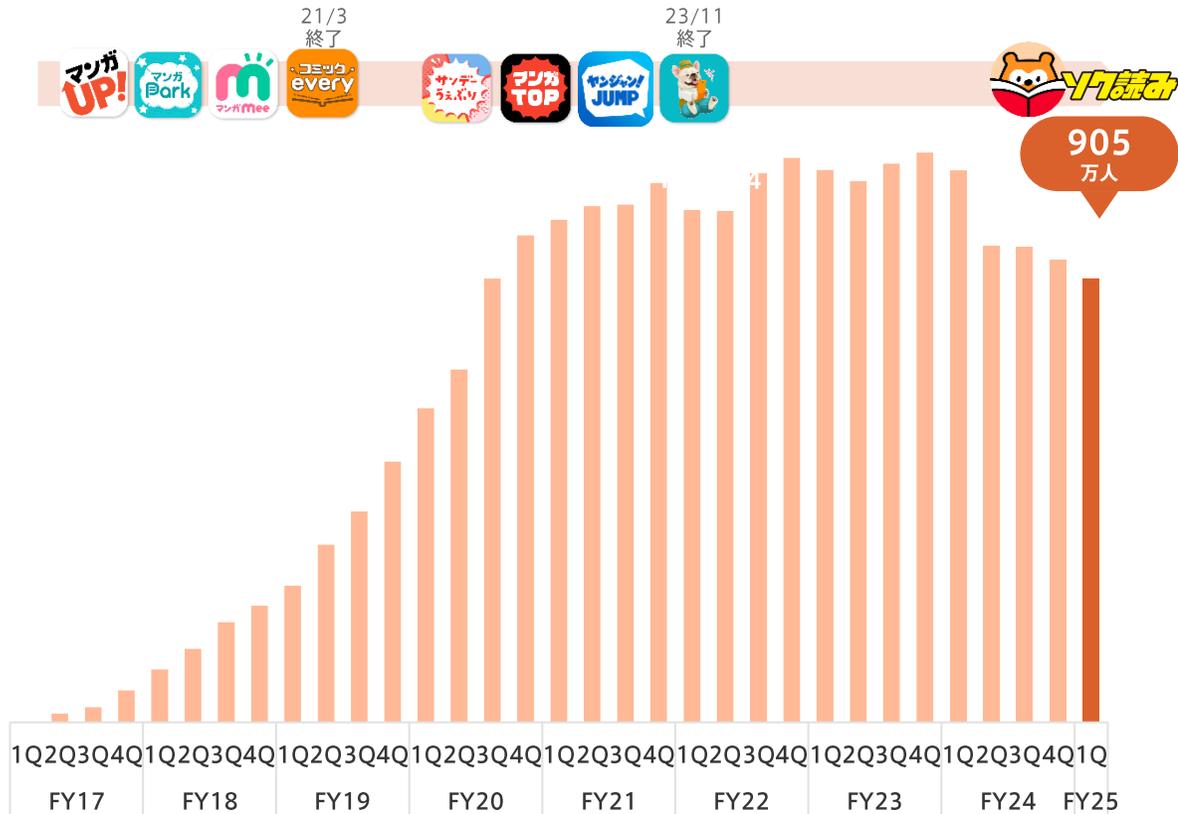


※エンジニア及びデザイナーに係る全社共通費用を含む

マンガアプリKPIの推移

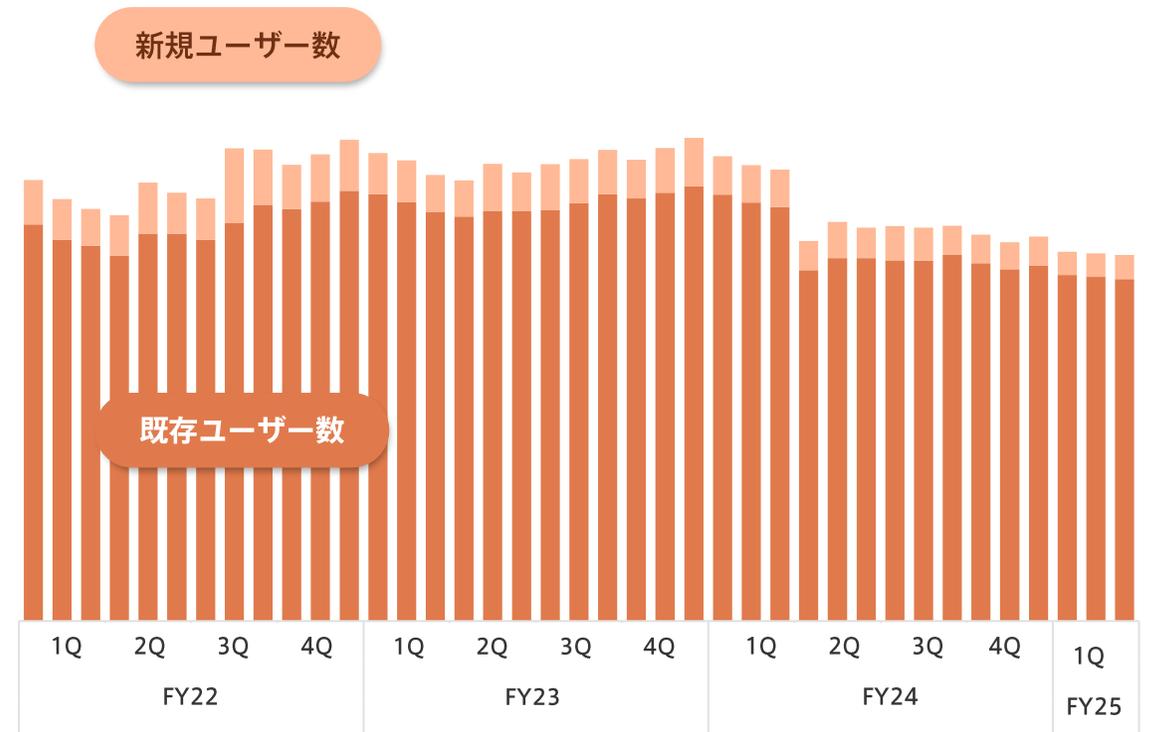
- ・ 人気作品の最終回や休載の影響やメディア化にあわせた施策の終了によりMAU減少
- ・ ユーザー数の回復と既存ユーザーの継続率改善および新規ユーザー獲得の施策を行う

マンガアプリのMAU



※マンガアプリのMAUの各四半期における平均値を採用

既存ユーザー数と新規ユーザー数の推移



※新規ユーザー数は当月に新たにインストールをしたユーザーの数、既存ユーザーは当月のアクティブユーザー数から新規ユーザー数を除いたユーザーの数を指す

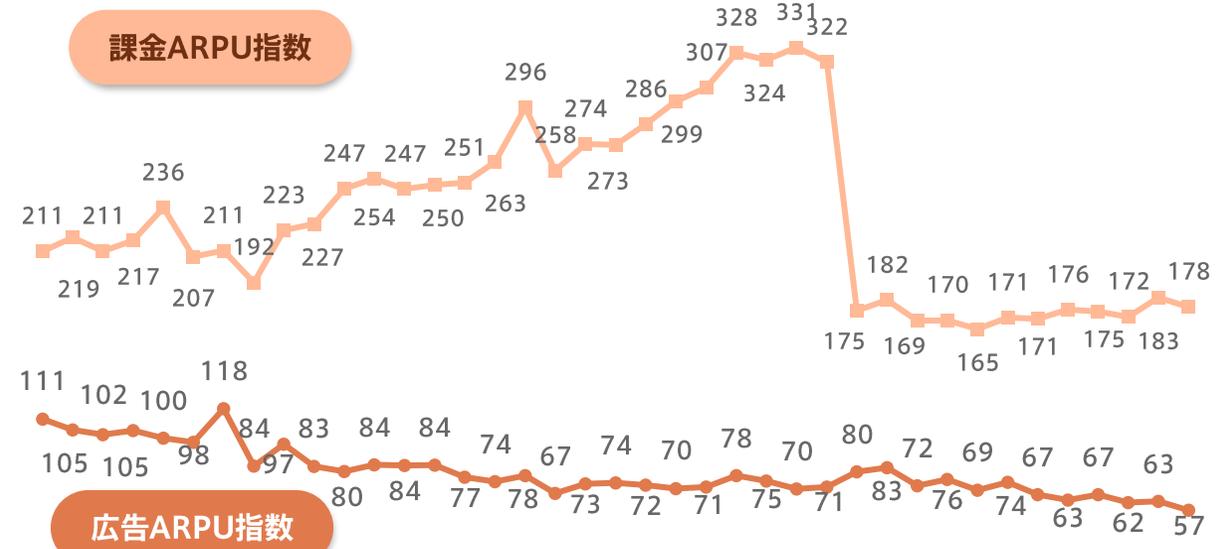
マンガアプリKPIの推移

- 課金率の高い「めちゃコミック」が剥落したことにより課金ARPUは下降
- 随時、既存アプリのキャンペーン施策を実施。課金ARPUは微増ながらも回復の兆し
- 一方で配信ADNWの案件単価の減少および広告リワードの鈍化により、広告ARPUが下降傾向

ARPU (ユーザー1人あたりの収益単価)



課金ARPUと広告ARPUの推移 (指数)



Quarter	課金ARPU指数	広告ARPU指数
FY22 Q1	211	111
FY22 Q2	211	102
FY22 Q3	236	100
FY22 Q4	211	98
FY23 Q1	192	84
FY23 Q2	223	97
FY23 Q3	227	83
FY23 Q4	247	84
FY24 Q1	247	84
FY24 Q2	251	74
FY24 Q3	263	67
FY24 Q4	296	74
FY25 Q1	258	70
FY25 Q2	274	78
FY25 Q3	273	70
FY25 Q4	286	75
FY26 Q1	299	71
FY26 Q2	307	80
FY26 Q3	328	72
FY26 Q4	331	69
FY27 Q1	322	74
FY27 Q2	175	63
FY27 Q3	182	67
FY27 Q4	169	67
FY28 Q1	170	63
FY28 Q2	165	62
FY28 Q3	171	57
FY28 Q4	176	
FY29 Q1	172	
FY29 Q2	178	

※2017年3月のマンガUP!のARPUを100として指数化。以降は新規含む複数アプリのARPUの単純平均値を指数化

マンガ事業の施策

注目作品や名作の全話無料キャンペーンを中心に、還元率の高いキャンペーン等複数の施策を実施



ジャンジャン！

『【推しの子】』完結に伴い、MAUは増加
売上は最終話で大きく伸長。
BLUEメンバーシップ1周年に伴い、キャン
ペーンを実施。
メンバーシップ限定で名作全話無料他施策を
続々と発表



サンデーうぇぶり

「日替わり全話無料！読み放題キャンペーン」
大好評を博した【漫画駅伝】のリバイバル企画
を実施。
うぇぶり連載中の注目作品から、メディア化
された名作をラインナップ



Pontaマンガ

Pontaポイントやコイン還元施策によりMAU
とARPUが増加。直近ではリリース1周年記念
施策や予約購入機能のリリース記念キャン
ペーンを実施し、引き続き利用者拡大を目指した施
策を展開予定



マンガ事業の方針と戦略

既存事業強化と種まき

FY25から複数の柱創出と再投資によるトップライン拡大

既存マンガ



- ・ 出版社との強固なリレーション
- ・ 1,000万弱のユーザー基盤
- ・ 安定した収益基盤
- ・ レベニューシェアモデルと受託モデルのハイブリッド形態

新規領域 (種まき)

Pontaマンガ	大型ポイント連携型電子書店
ソク読み	老舗電子書店の再グロース
サウスワークス子会社化	マンガ翻訳受託の強化
Webtoonスタジオ設立	縦スクマンガ制作受託
集英社IP	BtoB 向けIP利活用の強化
AI縦マンガ化	自動コマ分割受託

①

既存マンガ
運営最適
安定利益創出

②

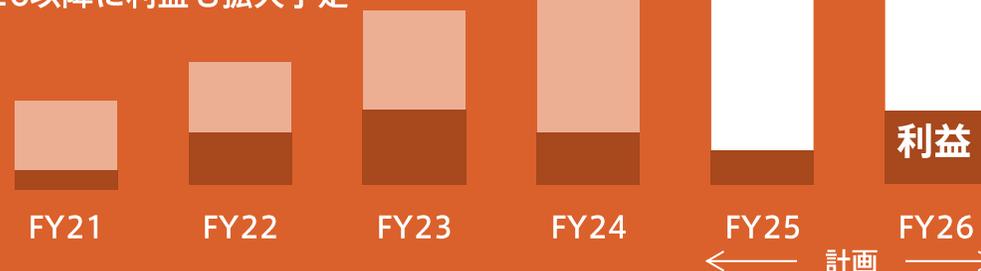
BtoB向け
収益基盤強化

③

チャレンジ領域

売上高/営業利益推移

一時的に利益は下がるものの
トップライン拡大は維持
FY26以降に利益も拡大予定



今までに仕込んだ新規の種まきを着実に成長させ、FY26以降の成長へ向け、マンガ事業領域における多角化を推進する

マンガ事業の方針と戦略（再掲）

既存事業強化と種まき

FY25から複数の柱創出と再投資によるトップライン拡大

①

既存マンガ
運営最適
安定利益創出



売上：22億円
利益：2億円



収益維持
体制効率化を推進

②

BtoB向け
収益基盤強化

立ち上げ期のため収益貢献なし

- ・ サウスイークス翻訳事業
- ・ Webtoon制作受託スタジオ
- ・ 集英社IPライセンス事業
- ・ AIコマ分割縦化受託

FY25に早期収益化
安定基盤の強化を推進する

③

チャレンジ領域



立ち上げ期のため収益貢献なし

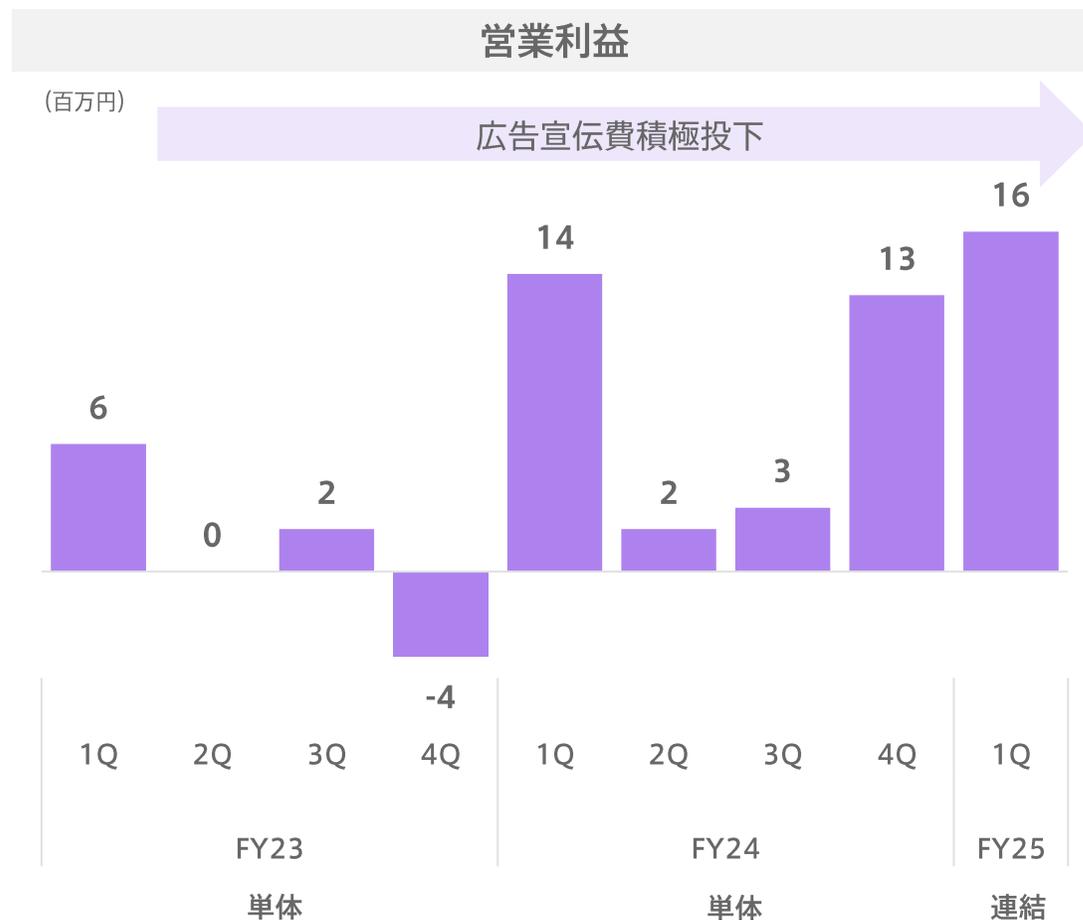
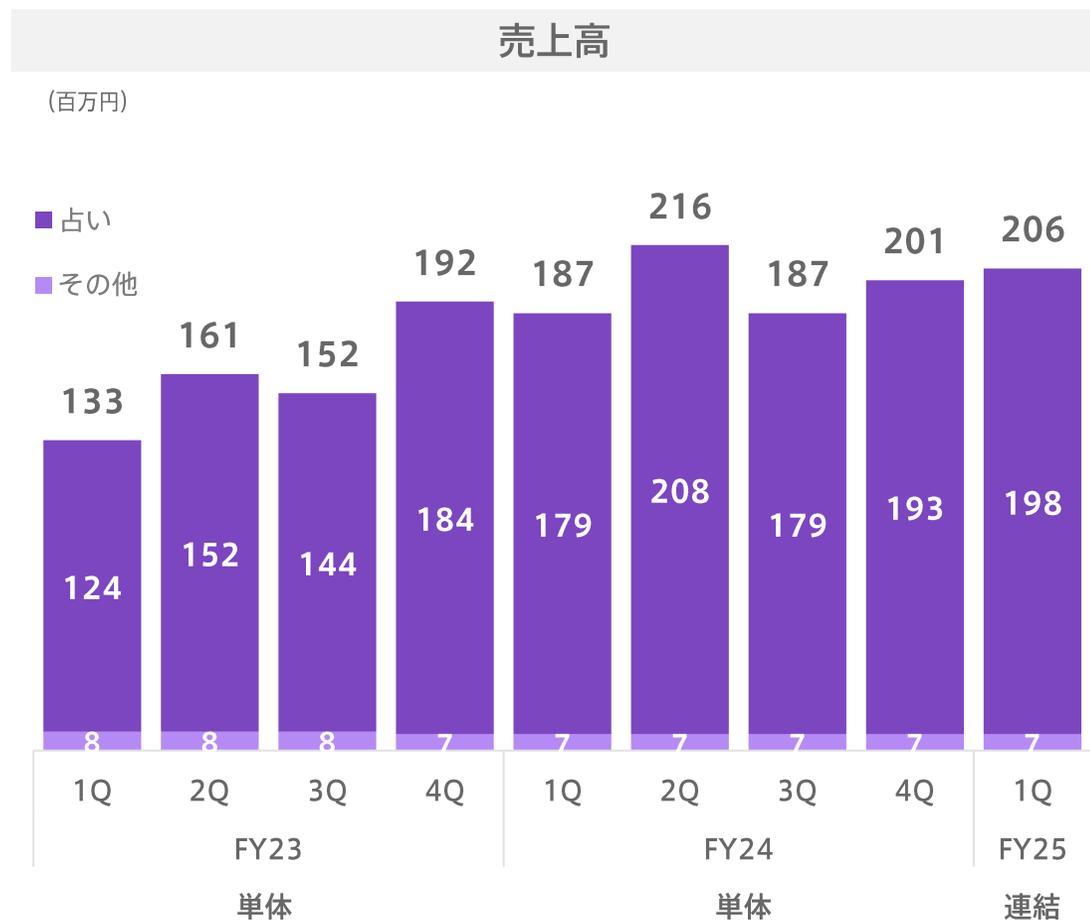


電子書店強化
収益化はFY26以降予定
FY25は着実な成長を目指す

エンタメ事業

売上高/営業利益推移 (四半期)

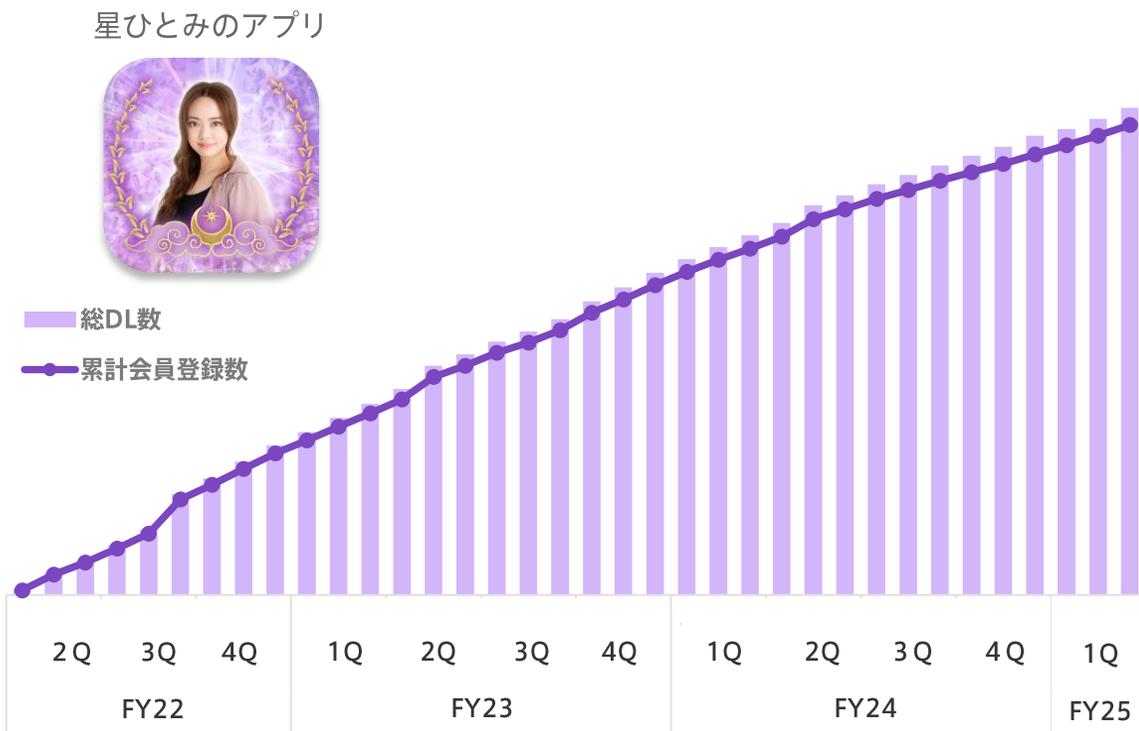
- 占い事業の牽引により**売上高YoY約110%達成、引き続き堅調な成長率を維持**
- 「電話占いuraraca」の広告宣伝費を積極投下、高水準で売上推移
- 「星ひとみの占い」のアプリで月額料金モデルを導入やWEBリニューアルに伴う月額料金の見直し効果により利益を伸長



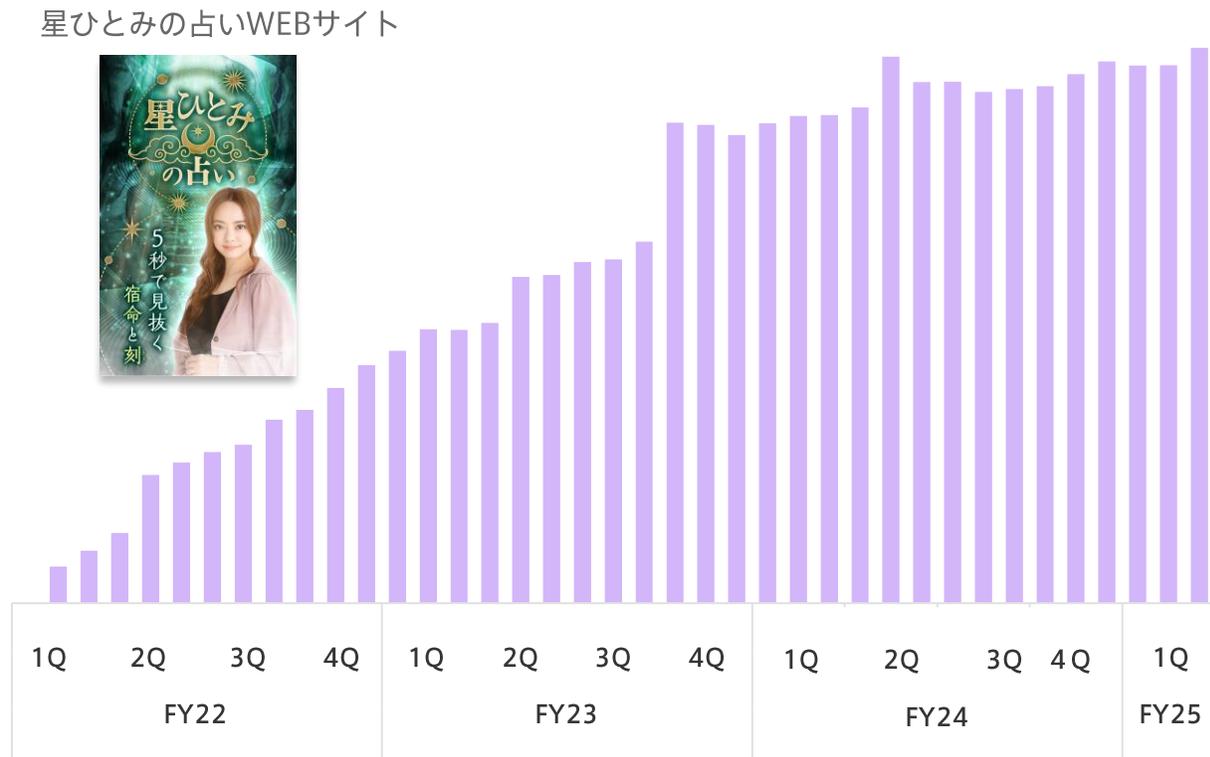
エンタメ事業のKPI

- 引き続きユーザー数は高水準を維持。アプリでは月額モデル導入した影響で会員登録者数が大幅に上昇傾向
- 1QでWEBのフルリニューアルを実施。コンテンツ内容を充実したことで退会率の抑止、会員登録者数およびARPU共に伸長
- 今後、新たな施策として、様々なリアル商材を掛け合わせたサービス展開を予定

総ダウンロード数及び累計会員登録者数推移



月別会員登録者数推移



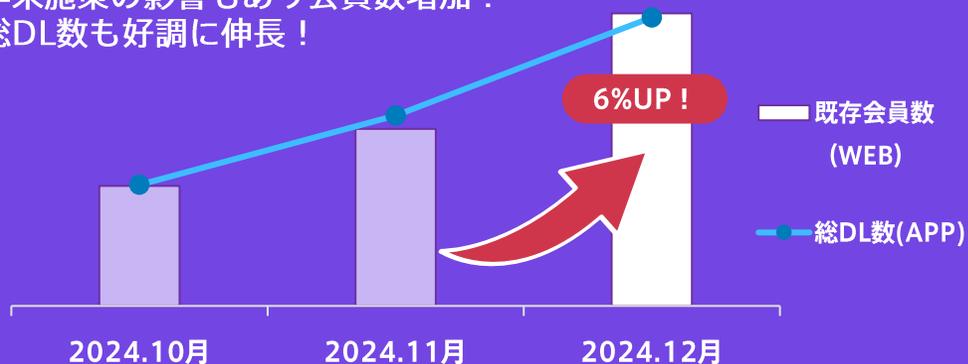
エンタメ事業の施策

需要期における積極的に施策を実施

「星ひとみ」の占いサービスで年末年始の恒例イベントの他、2025年を盛り上げる様々な特集を実施！



年末施策の影響もあり会員数増加！
総DL数も好調に伸長！



「星ひとみ」Web

年末年始特別企画が元旦から好調の滑りだし、入会・売上共に大幅に伸長

入会：前年同期間比 **177%**成長
売上：前年同期間比 **130%**成長

「星ひとみ」APP

毎年恒例の企画に加えて新たにゲーム要素を加えた企画等も登場し初速が好調

売上：前年同期間比 **107%**成長

年末に某人気Youtuberへの占いの中報道も重なり入会が急増中！

これにより売上も好調に伸長する見込み

引き続き顧客満足度の高いサービスを展開予定

エンタメ事業の方針と今後の戦略（再掲）

トップラインの成長を意識

FY25からトップラインと利益を意識した戦略へ

電話占い・チャット占い「uraraca」



高ARPUを維持
利用者の増加により
収益を拡大

人気占い師監修のコンテンツ・アプリ



…and more!

積極的な広告戦略による利用者拡大
更に占い師との提携を拡げる

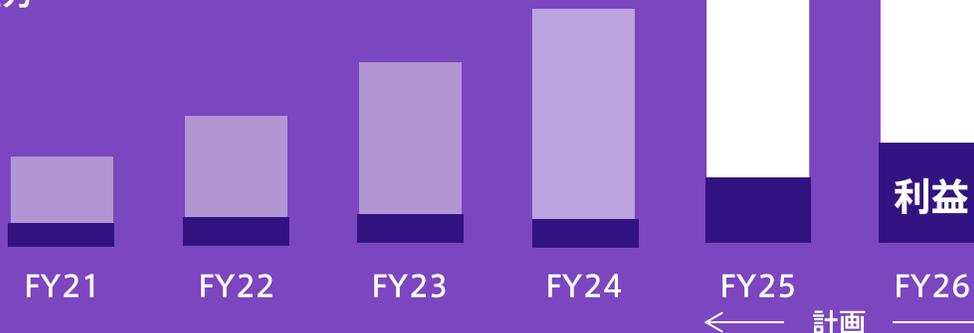
選択と集中

オンライン鑑定
システムOEM

エンタメ×不動産事業

売上高/営業利益推移

トップラインと利益の拡大
に注力



既存占い事業の選択と集中及び、そこで得た知識・技術を活かし
より収益性の高い新規事業への展開に利益体質の強化を図る

エンタメ事業の方針と今後の戦略（再掲）

既存事業の選択と集中

占いサイト

複数占いサイトを星ひとみサービスに集中



電話占い

外部依存を低減させ利益体質に

- ・鑑定師
複数プロダクションから供給 → 内部採用の強化
- ・占いシステム
外部CTI（電話機能）を利用 → 完全内製化

uraracaアプリ

電話・チャット・デジコンをチャットに集約し機能強化



- ・電話占い
 - ・チャット占い
 - ・デジコン占い
- チャット占い

今後挑戦していく領域

オンライン鑑定システムOEM

- ・ 自社電話占いシステムの完全内製化により「電話占いuraraca」の利益率を改善 → **利益率 15~20%改善**
- ・ より運用しやすく収益性の高い電話システムの構築により、他社電話占いや業者様へのシステム提供を図る → **売上/運用費/利用費の拡大**
- ・ 同時に対面鑑定を実施している占いや業者様へオンライン鑑定システムとしての展開を図る → **占い経済圏のシェア拡張**

エンタメ×不動産事業

現在実施しているVtuber×&AND HOSTELにおいて、更に幅広いVtuber様・プロダクション様との展開を図り、よりエンタメ性の高い成功モデルを構築していく
また、RET事業部で用意した不動産（ハード）に、エンタメ事業部で用意したコンテンツ（ソフト）を掛け合わせた新規事業を検討
特にインバウンド需要を意識したビジネス展開を設計

APPその他事業



ゲーム・マンガのローカライズが好調！

- ・アニメ化されたIPゲームタイトルのローカライズ案件のリピート受託で堅調に推移
- ・マンガのローカライズ受託は大手出版社との基本契約を締結

パブリッシング事業が好調！

- ・複数の新規取引先との契約が続々確定！
- ・インディータイトルのパブリッシングで6件の新規契約を獲得。収益拡大を目指す

ローカライズ受託の対応言語

- ・ 英語
- ・ 中国語（簡体・繁体）
- ・ タイ語
- ・ フランス語
- ・ 韓国語

RET事業

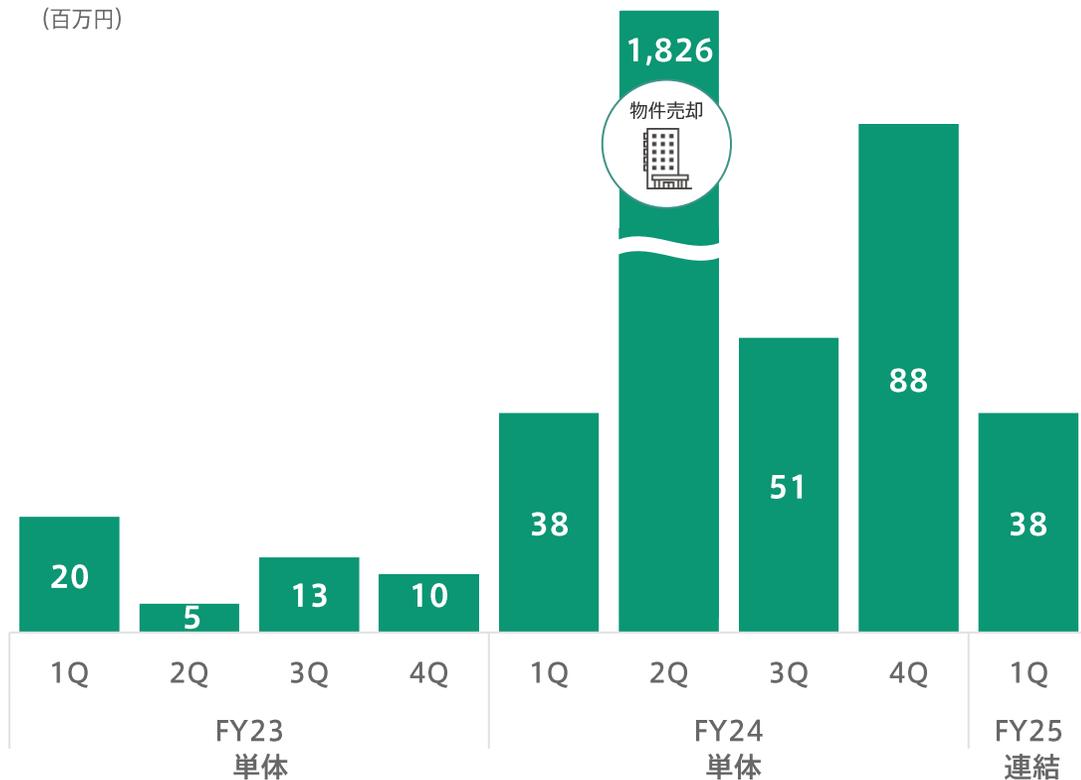
04

売上高/営業利益推移（四半期）

- &AND HOSTEL全店の稼働率は引き続き高水準で推移し、宿泊売上は堅調に推移
- &AND HOSTEL SHINSAIBASHI EASTを売却した影響により前四半期と比較すると宿泊売上・営業利益ともに減少
- 不動産アドバイザー報酬による売上を収受。高い利益率で利益にも寄与。前四半期に続いて営業利益を維持
- 宿泊マーケット回復の背景を受け、宿泊物件（&AND HOSTELを含む）の購入ニーズ増大により、自社保有物件の獲得に加え仲介報酬での収益拡大も目指す

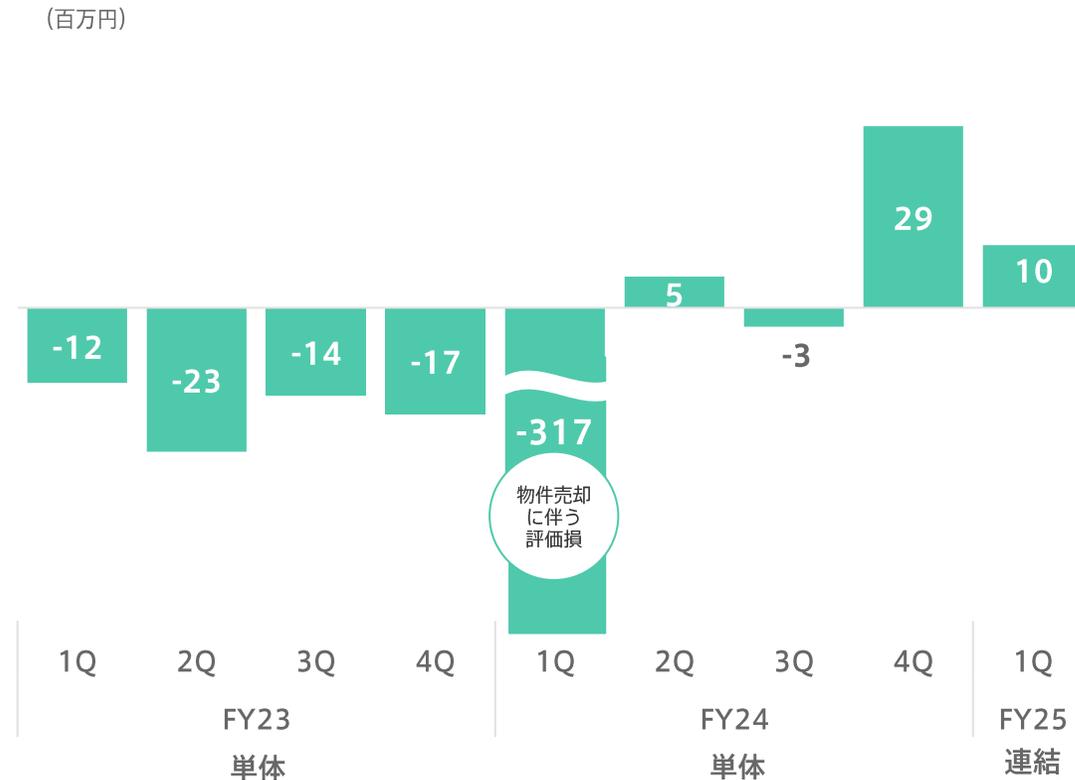
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



RET事業の施策

&AND HOSTELのリソースを最大化する新たな取り組み

Vtuberコラボイベント第4回目の開催決定！

成功を夢みるVtuberがファンとワクワクした
気持ちをシェアできる空間の実現



過去3回Vtuberコラボイベント

宿泊予約率**90%**超え

&AND HOSTELは宿泊施設としてインバウンドの増加により宿泊売上を収受しているが、FY24より新たな取り組みとしてVtuberとのコラボイベントを開催

客室をVtuberのグッズで彩ったコラボルーム化やオリジナルアメニティグッズのプレゼント等、国内Vtuberファンの方々をターゲットにリソース活用を図り、アップセルを実現

また、開催ごとにユーザーから高評価を頂いており、今後も継続開催を予定しており定常的な収益源として、今後のRET事業の収益拡大に寄与

RET事業の方針と戦略（再掲）

既存事業による収益確保

新たな取り組みによる拡大戦略

店舗運営による宿泊収益の確保



- 引き続き安定的な運営により宿泊収益を積み上げる
- マンガ・エンタメ事業で培った技術力、データ分析力を活かし客室単価の最適化を図る

他事業とのシナジー最大化

マンガ事業や占い事業とのシナジー効果を最大限に発揮する
前期にて実績を積んだVtuberコラボ企画について継続開催、イベント規模拡大を図る

新規物件取得

ランニングでの収益確保及び将来的な売却益の為、新たに都内を中心に物件取得の検討を開始
他社保有での新規案件取得についてもコンサル領域でチャレンジ

営業利益推移

FY24で赤字脱却完了
FY25以降は利益水準を引き上げる



RET事業の戦略に対する進捗

今後の拡大領域

具体的な施策

進捗

既存事業による 収益確保

- 引き続き安定的な運営により宿泊売上を積み上げる
- マンガ・エンタメ事業で培った技術力、データ分析力を活かし客室単価の最適化を図る



宿泊売上

インバウンド効果もあり全店舗で稼働率の高水準、客室単価見直しで売上好調



データ分析

データ分析力を活かし、周辺施設の客室単価や宿泊客の客層を分析し最適なプロモーション施策を講じる

他事業との シナジー最大化

- マンガ事業や占い事業とのシナジー効果を最大限に発揮する
- Vtuber企画継続開催、大規模イベント開催
- 専属Vtuberリクルーティング

Vtuberコラボイベント3回実施 第4弾以降続々計画中



新規物件取得

- &AND HOSTEL SHINSAIBASHI EAST売却により、新たに都内を中心に物件取得の検討を開始

物件取得

より運営パフォーマンスが安定している都内にて、数件の候補物件があり取得検討中

コンサルティング

自社保有のみならず、他社との協業による新規案件獲得についても進行中。当社は物件取得から、運営まで総合的なコンサルティングにてマネタイズ

Appendix

BS増減比較

(百万円)

	2024年8月期末 単体	2025年8月1Q期末 連結	増減比較 (前期末比)
流動資産	2,509	2,210	-298
└現金及び預金	1,563	1,328	-235
固定資産	117	232	114
資産合計	2,627	2,442	-184
流動負債	1,192	1,031	-161
固定負債	225	259	34
負債合計	1,417	1,291	-126
└(有利子負債)	455	463	7
資本金	801	801	—
資本剰余金	800	800	—
利益剰余金	-392	-449	-57
自己株式	0	0	0
純資産合計	1,209	1,151	-57

PL実績

(百万円)

	2024年8月期1Q 累計期間実績	2025年8月期1Q 累計期間実績	前年同期比	2025年8月期 計画
売上高	896	760	84.8%	3,650
└売上高成長率	26.4%	-15.2%	—	-27.4%
└APP事業	858	718	83.7%	—
└RET事業	38	38	101.6%	—
└その他	0	3	—	—
営業利益又は営業損失	-195	-59	—	-100
経常利益又は経常損失	-207	-55	—	-100
当期（四半期）純利益	-66	-57	—	-103

※「その他」の区分は、主にマンガのIPを広告等に活用する事業であります。

事業別売上高・営業利益

(百万円)

	FY23				FY24				FY25	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	
マンガ	売上高	554	541	545	646	671	498	554	494	511
	マンガ	554	541	545	646	671	498	554	494	484
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	27
	広告宣伝費	193	191	194	189	182	191	179	165	152
	営業利益	121	118	118	192	186	73	18	-8	-0
	MAU (万人)	1,129	1,105	1,140	1,161	1,126	972	971	943	905
エンタメ	売上高	133	161	152	192	187	216	187	201	206
	占い事業	124	152	144	184	179	208	179	193	198
	その他	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	営業利益	6	0	2	-4	14	2	3	13	16
	占い事業	9	9	12	11	19	5	3	12	15
RET (不動産事業)	売上高	20	5	13	10	38	1,826	51	88	38
	営業利益	-12	-23	-14	-17	-317	5	-3	29	10

ディスクレームー

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。